

ニーズに応えて造園を身近なものに

私は中学校2年生の時に、高校教師をしていました。父親を病気で亡くしています。当時は漠然と、父の背中を追って教師になるものだと思っていました。ですが大学在学中、大工や塗装業の職人になった友だちが生き生きと仕事をしている姿を見て「職人ってかっこいい！」と思ったんです。子どもの頃、父親の仕事の関係で自然豊かな伊豆大島に住んでいたことも影響し、とができる造園業をしようと決意しました。

「いっかは独立する」と決め、最初はアルバイトから始めてみたのですが、簡単にできそなほう

私が造園業を始めた頃は、まだバブル時代。和風庭造りなど、豪華な造園を希望されるお客様が多くなっていました。しかし、時代の変化とともに切り替わっていました。家も洋

時代の変化によって造園のニーズも変わりましたか？

これは亡くなった父親が言っていた言葉です。良きにつけ悪しきにつけ、結果は後から付いてくるものだから、絶対に決めることは諦めたらいいけど教えられました。私が今まで事業を継続できたのも、この言葉あってのことだと思います。

知識を学び、経験を重ねてきました。知り合いから「一度大きな造園会社で学ばせてもらった方がいい」と勧められ、22歳から34歳まで守谷の造園会社で修業。そして12年前に念願の独立を果たしたのです。

起業しようと思ったきっかけは？

起業しようと思ったきっかけは？

きがけさえうまくできなかつたんです。

その悔しさをバネに知識を学び、経験を重ねてきました。知り合いから「一度大きな造園会社で学ばせてもらった方がいい」と勧められ、22歳から34歳まで守谷の造園会社で修業。そして12年前に念願の独立を果たしたのです。

風の造りが多くなってきたので、イングリッシュガーデンのよう

な、洋風な庭造りも対応できるようにし

ています。

小学生の時から取

手で暮らしているの

で、今後はお世話に

なった地元に密着し

た造園屋になりたい

です。「地元の造園屋

といえど野島造園！」

といわれるよう頑張っていきたいです。



野島造園

一級造園技能士 野島 修一さん

CORPORATE INFO.

取手市棚木2428-5
Tel/Fax 0297-83-6397
携帯 090-2744-5740



コトバの
キカラ

私を支えるこの一言

「継続は力なり」

これは亡くなった父親が言っていた言葉です。良きにつけ悪しきにつけ、結果は後から付いてくるものだから、絶対に決めることは諦めたらいいけど教えられました。私が今まで事業を継続できたのも、この言葉あってのことだと思います。